

ZEPEAL

ゼピール ダブルタイマーリモコンリビング扇風機 ART-A33H

[切・入ダブルタイマー付] [リモコン付] [羽根サイズ30cm]

取扱説明書(保証書付)

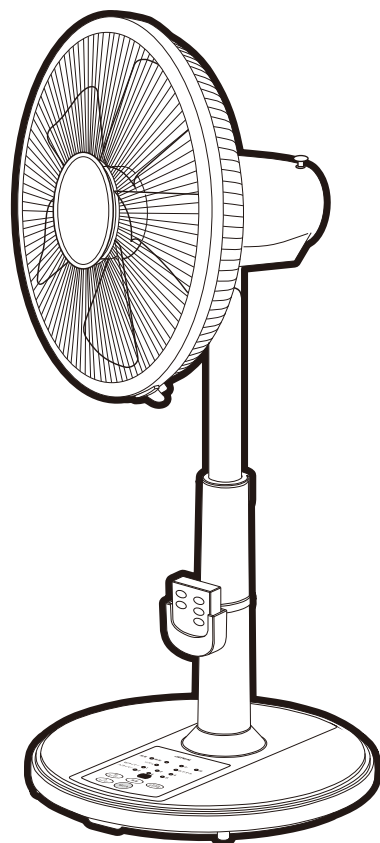
このたびはリビング扇風機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

も く じ

安全上のご注意	1~2
各部の名称と使いかた	3
組み立てかた	4~6
操作のしかた	7~9
リモコン	9~10
特に注意していただきたいこと	10
お手入れと保管	10~11
アフターサービスについて	12
仕様	12
長年ご使用の扇風機はよく点検を	13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	13
MEMO	14
保証書	15



●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いにより生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転させたりしないでください。ケガをする恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート感電の恐れがあります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理・改造は行わないでください。発火や異常動作してケガをすることがあります。

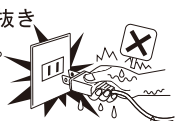


梱包用ポリ袋をお子様の手の届かない場所に保管してください。誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。

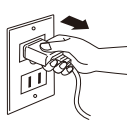


濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。



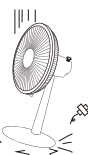
お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



使用中(羽根の回転中)にガードを持って、上下左右に風向きを変えないでください。ガードを持って操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。



転倒による羽根破損に注意！
本体の転倒や落下により羽根が破損する恐れがあります。使用中には十分に気をつけてください。



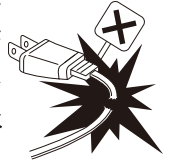
注意



AC100V以外の電源では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりしたときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。

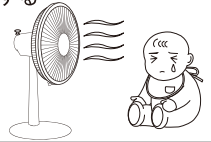


この扇風機は、一般家庭用です。次のような所では、使用しないでください。感電、火災、破損、故障の原因になります。

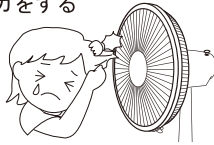
- 温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。
- 工場内などの油のつきやすい所。
- 有機溶剤を使用している所。
- 砂ホコリ、綿ホコリ、金属粉の多い所。
- 屋外や40℃以上の高温になる所。
- ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。



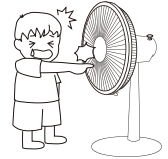
風を長時間、身体にあてないでください。健康を害することがあります。



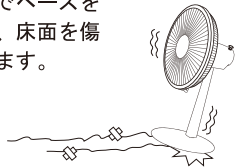
髪をガードに近づけすぎない。髪が巻き込まれてケガをする恐れがあります。



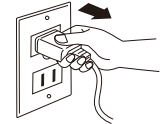
ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。ケガをする恐れがあります。



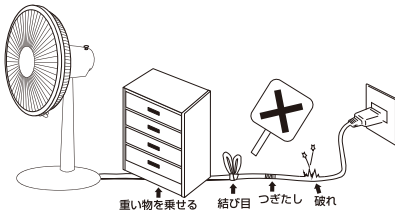
畳、床面などでベースを引きずらない。畳、床面を傷つける恐れがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショート、発火することがあります。



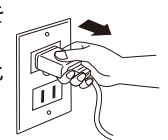
電源コードを傷付けたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。



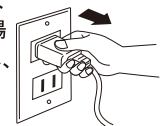
※電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガやヤケド、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



本体に異常(大きな騒音や大きな振動など)が発生した場合は、直ちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。



電源プラグのホコリは定期的にとってください。電源プラグの刃は、乾いた布で拭いてください。

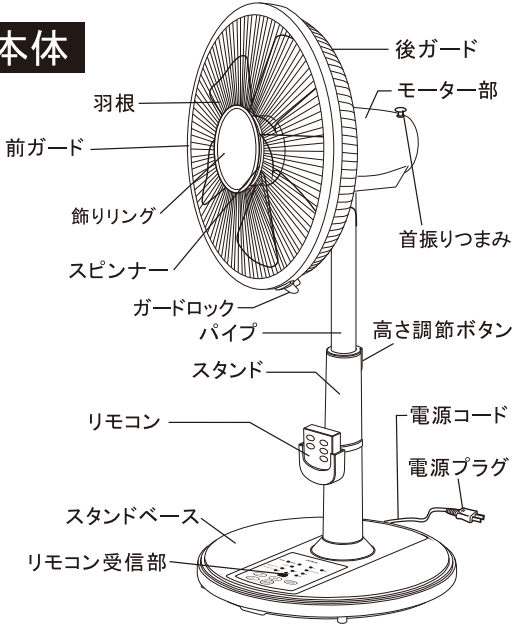


各部の名称

お願い

カーテンなどの障害物となる物の周囲や不安定な場所をさけてご使用ください。

本体



付属品



リモコン リモコンホルダー 単4電池 2本
(動作確認用)

付属の乾電池は工場出荷時に同梱して
いますので自己放電のため、寿命が
短くなっている場合があります。



ガード止めナット スタンド固定ナット
※本体に装着しています。

首振り角度

(自動運転時)

左右 約75度

●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

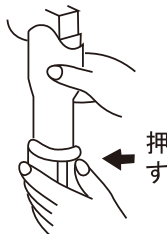
使いかた

警告

使用中(羽根の回転中)に、ガードを持
って、上下・左右に風向きを変えないで
ください。ガードを持って操作すると、
羽根がガードにあたる場合があり、羽根
が破損し、ケガをする原因になります。

高さ調節のやり方

図のように片手でパイプを持ち、もう
片方の手で高さ調節ボタンを押しながら、
パイプの高さを
調節してください。
※高さを上げる場合、
ボタンを押してい
る間はロックがさ
れません。



首振りのやり方

首振りつまみを下へ押すと首振りを
始め、上へ引き上げると停止します。

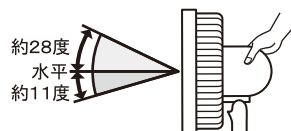


風向調節のやり方 (運転停止で行ってください)

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を
上下・左右に動かしてください。

●カチカチと音が出る範囲まで調節できます。

可動範囲(手動)



組み立てかた

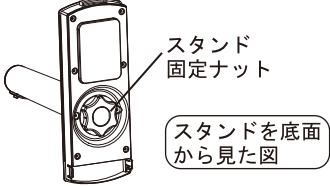
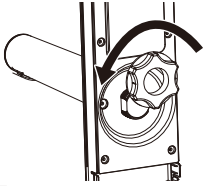
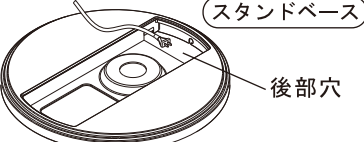


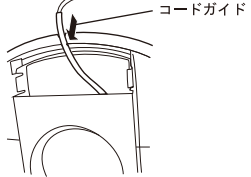
お 願 い

- 梱包部材は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締め付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転させないでください。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなることがあります。

1 スタンドベースとスタンドを組み立てる

(注意) スタンド固定ナットはスタンド(本体)底面=裏側に取り付けられています。スタンド固定ナットをはずさないとスタンドベースは取り付けられません。

- スタンドは単体では立ちません。組み立て前は必ず横向きで置いてください。
- スタンドとスタンドベースを組み立ててから、後ガード、羽根、前ガードを取り付けてください。

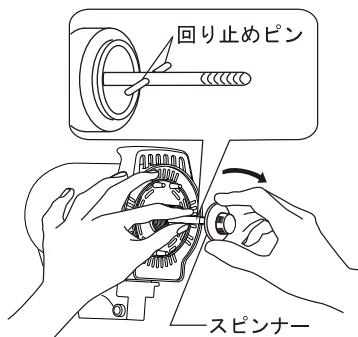
<p>1</p>  <p>スタンド「固定ナット」をスタンド(本体)から取り外します。</p>	<p>2</p>  <p>スタンド「固定ナット」を矢印の方向に回して、本体から取り外してください。</p>
<p>3</p>  <p>平らな安定した場所にスタンドベースを置き、電源コードをスタンドベースの「後部穴」へ通してください。</p>	<p>4</p>  <p>スタンドベースにスタンドの「突起部」を差し込み、スタンドを上から押しながら、スタンドベースに取り付けます。</p>
<p>5</p>  <p>②で取り外した固定ナットを矢印の方向(時計まわり)に締め付けてください。</p>	<p>6</p>  <p>電源コードをスタンドベースのコードガイドにはめ込んでください。</p>

※スタンドをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

スタンドをスタンドベースから外す場合は、「保管」のページをご覧ください。

2 スピンナーをはずす

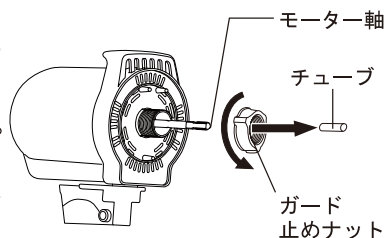
- 片方の手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、もう片方の手でスピナーを時計回り（矢印の方向）へ回して外してください。



3 チューブをはずし、ガード止めナットをはずす

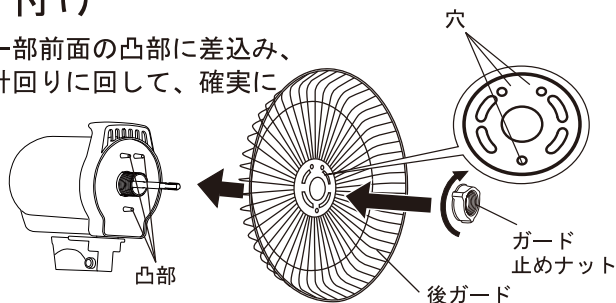
- チューブ（モーター軸のさび防止用）を前方に引き抜いて外してください。
- ガード止めナットを回して外してください。

※ガード止めナット、スピナー、チューブは保管の際本体に装着してください。



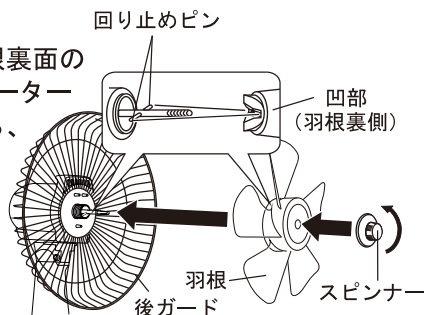
4 後ガードの取り付け

- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差込み、ガード止めナットを時計回りに回して、確実に締め付けてください。

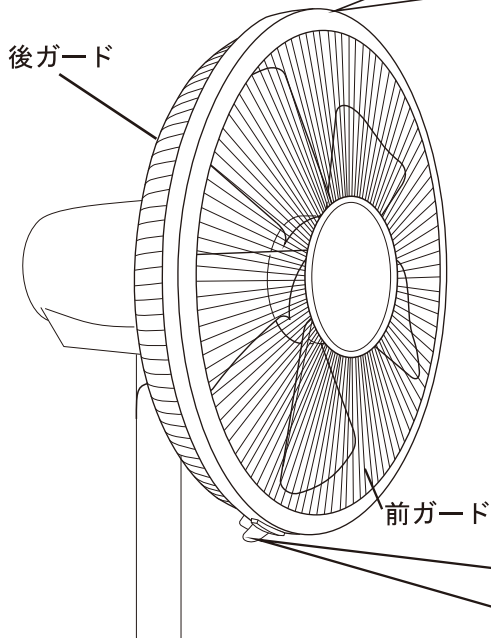


5 羽根の取り付け

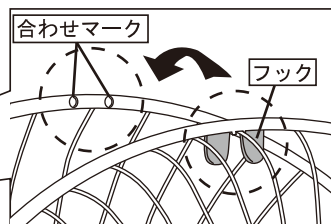
- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏面の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差込み羽根を押さえながら、スピナーを反時計回りへ回して、確実に締め付けてください。



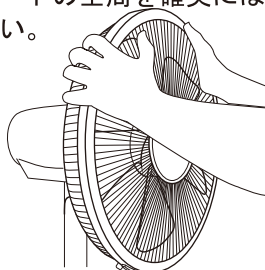
6 前ガードの取り付け



- 1** 前ガードの「フック」を後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込みます。

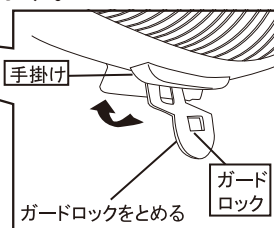


- 2** 前ガードを後ガードにかぶせるように上から順に前ガードを押さえながら、前ガードの全周を確実にはめ込んでください。



! この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形する恐れがありますので、力を入れすぎないようにご注意ください。

- 3** ガードロックを強く押し込んで固定します。



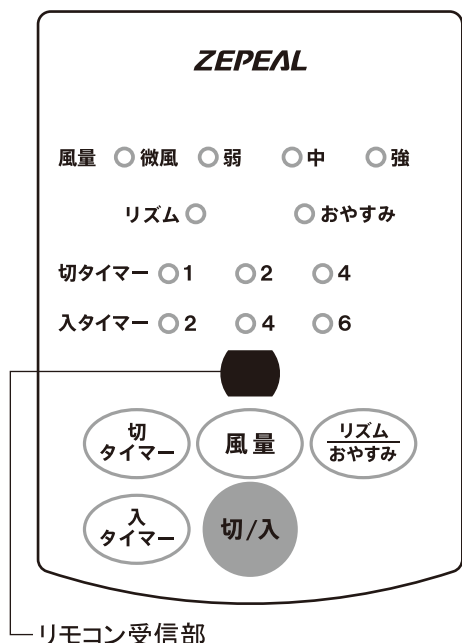
- 4** ガードロックが下図の位置になるように固定してください。「パチン」と音がするまで確実に強く押し込んでください。



操作のしかた




操作パネル

- 運転する時は、最初に「切 / 入」ボタンを押してください。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、「切」の状態になりますので、初めから操作をやり直してください。（運転開始直後の3秒間は、中で運転し、その後自動的に弱風になります。）
- 操作パネルの一部とスタンドの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

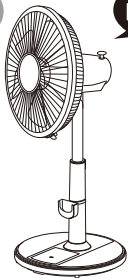
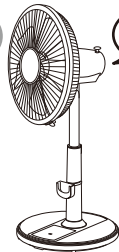


節電ワンポイント!

安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。運転をしていなくても、わずかな電力(約1W)を消費します。

	「切 / 入」ボタン 「切 / 入」ボタンを押すと運転します。もう一度押すと停止します。
	「風量」ボタン 「風量」ボタンを押すと風量が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。 → 微风 → 弱 → 中 → 強
	「リズム / おやすみ」ボタン 「リズム / おやすみ」ボタンを押すたびに下図のように設定が切り替わります。 「リズム / おやすみ」表示ランプ (消灯) ● → ☀ → ☀ 通常運転 リズム おやすみ

切タイマーと入タイマー

	<p>「切タイマー」ボタン 「切タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。</p> <p>→ 1時間 → 2時間 → 4時間 →</p> <p>← タイマーセット解除（連続運転） ←</p> <ul style="list-style-type: none"> ●時間の経過とともに表示ランプが変わり、残りの時間を表示します。 ●セット時間に達しますと、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。
	<p>「入タイマー」ボタン 「入タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。</p> <p>→ 2時間 → 4時間 → 6時間 →</p> <p>← タイマーセット解除 ←</p> <ul style="list-style-type: none"> ●セット時間になると自動的に運転を開始します。

- 入タイマー設定後、切タイマーも設定できます。
- 3時間自動オフ機能について
 入タイマーで運転を開始した場合のみ、以後3時間ボタン操作がなければ、運転開始3時間後に運転を停止します。(切タイマーを設定してある場合は、切タイマーが優先されます。)

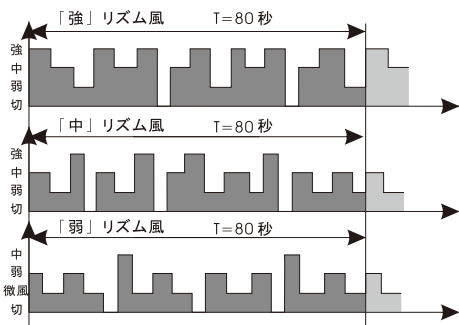
切・入ダブルタイマー連動運転について

運転中、切タイマー設定後、入タイマーを設定できます。
 例) 切タイマーを2時間、入タイマーを2時間に設定した場合

切タイマー (2)	運転	停止		
入タイマー (2)			運転	停止 (ボタン操作が無い場合)
	9時 (PM)	10	11	12 (AM)
				1
				2
				3
				4
				5
				6時

- 夜9時に設定すると夜11時に運転停止。
 「入」設定が2時間なので停止してから2時間後（夜1時）に運転を開始します。
- 入タイマーで運転開始後、3時間ボタン操作が無い場合は、運転を停止します。
 - 切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
 - 入タイマー設定後、切タイマーを設定できます。

■ 「リズム」 風量パターン



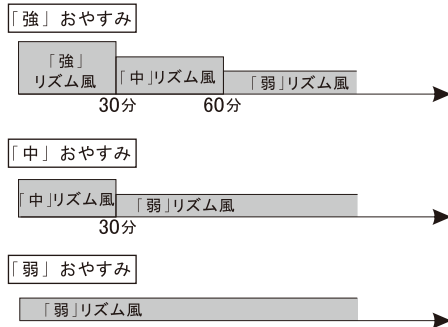
「リズム」

- 微風・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量がリズムカルに切り替わります。(左上図参照)
- ※ 微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
- ※ 運転時は、羽根が止まる場合があります。

メモリー機能について

- 運転停止後、「切/入」ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。(おやすみ風量・タイマー時間はメモリーされません)
- 電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。

■ 「おやすみ」 風量パターン



「おやすみ」

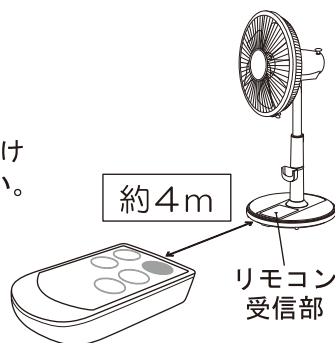
- 設定された風量から、30分ごとに自動的に風量を下げます。(右上図参照)
- ※ 微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
- ※ 自動的に運転を停止する設定ではありません。切タイマーを併用してのご使用をおすすめします。

快眠を誘うように徐々にやさしい風量に変化します
(弱リズム風の場合は、弱リズム風で運転を続けます)。

リモコン

1 操作のしかた

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて、「切/入」ボタンをゆっくり押ししてください。



- ボタンの機能は本体側と同じです。
- リモコンの使用できる範囲は約4mです。
- ※ リモコンホルダーはスタンドに取り付けてください。


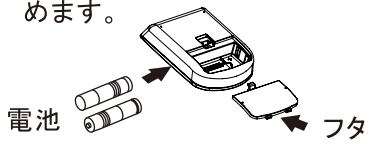
お願い

- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2個同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

※ 次のところではリモコンの操作ができないことがあります。

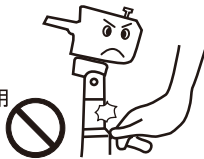
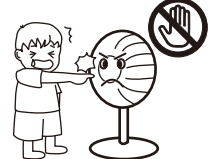
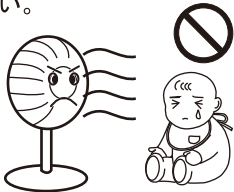
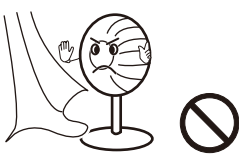
- 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具等を使用しているところ。
- 本体のリモコン受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。

2 電池の入れ替え（単4電池2本使用）

<p>1 リモコンの裏側の下部にあるフタを矢印の方向に引き出します。</p> 	<p>2 「+・-」の表示に合わせて電池を入れ、本体に元通りフタを閉めます。</p> 
---	--



- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 長時間使わない時は電池を取り出してください。（液もれによる故障を防ぎます）
- もし液もれが起こった場合は、液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 「+・-」を正しく入れてください。
- 同梱されている単4電池（動作確認用）は、寿命が短くなっている場合があります。

特に注意していただきたいこと

<p>羽根、ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したりモーターを運転させないでください。</p> <p>モーター一部が急にはね上がり、ケガをする恐れがあります。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなる場合があります。</p> 	<p>運転中は絶対にガードの中へ手や、物を入れないでください。特に羽根の裏側は危険です。</p> <p>ケガをしたり、破損したりします。特に小さいお子様には注意してください。</p> 
<p>乳幼児、お年寄り、病気の方には長時間直接風を当てないでください。</p> <p>健康によくありません。お休み前にはタイマーを使用し、壁などに風を向けて反射風を利用しましょう。</p> 	<p>カーテンなどを吸い込んだり、首がさまたげられたりしない安定した場所でご使用ください。</p> <p>転倒やモーター不良の原因になります。</p> 


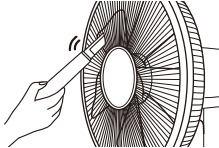
お手入れと保管

⚠ 警告

	<p>羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押し、モーターを運転させないでください。ケガをする恐れがあります。</p>
	<p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やケガをすることがあります。</p>

お手入れ

羽根・ガード(前、後)にホコリが多量に付着していますと異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立てと逆の順序で分解し、清掃してください。

本体の汚れ		水かぬるま湯でうすめた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭き、さらに乾いた柔らかい布で水分が残らないように拭き取ってください。
ガード・羽根のホコリ		掃除機でホコリ、ゴミを吸い取ってください。

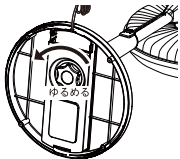
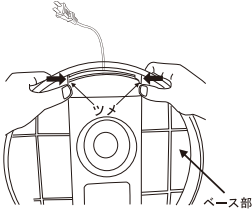
- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因になります。
- 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- スプレーをかけないでください。(掃除用、殺虫用、整髪用など)破損・変質の原因になります。

保 管

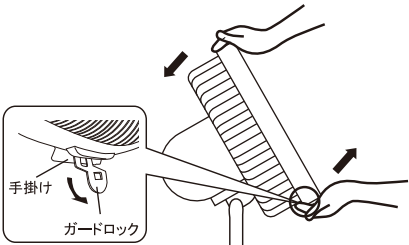
必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

羽根を正面に向けて、組立てと逆の順序で分解してください。(正面に向かない場合は無理に戻さず、首振りさせて正面に向けてください。)

ベースの外しかた

1 スタンド固定ナットを反時計回りに回して取り外してください。	
2 ツメを図のように両手の指で同時に内側へ向かって軽く押しとベースからツメが外れます。ベース部を手前に引くとベース部が外れます。	

前ガードの外しかた


図のようにガードロックを外し、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に強く引きます。

※前ガード・ガードロックは、運転中に外れないように固定しております。外すときに少しかたく感じますが、そのまま強く手前に引いてください。

- 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブをかぶせてください。(さびの防止)
- 梱包ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

アフターサービスについて

修理・お手入れ・ご使用方法等については、まずお買上げの販売店へご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店、または当社修理サービスセンターにお問合せください。

※修理の部品について：

修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

★個人情報の取扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適切な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り第三者へ開示または提供は致しません。

仕 様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	41/45W
製品重量(約)	3.2kg

上記のデータは強風時の数値です。

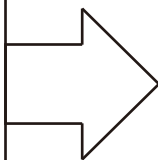
※製品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

風量	電気料金の概算目安:(首振り動作時) (1時間あたり:当社調べ)	※ 電気料金の概算目安です 電気料金は目安単価(1時間あたり27円:1kWh=1000Wh)で計算 電力会社およびご家庭の電力使用量、ご契約内容、 器具等の使用条件により金額は異なります。
強風	約 1 円強	

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

- 電源を入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても回転が遅かったり不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。



★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて
事故防止、モーターの焼損
防止のために必ず販売店
にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



※【設計上の標準使用期間】 6年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1)及び (社)日本電機工業会自主基準HD-116-3Iによる

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz及び60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(製品の取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(製品の取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (h/日)
	1日使用回数	5 (回/日)
	1年間の使用日数	110 (日/年)
	スイッチ操作回数	550 (回/年)
	首振運転の割合	100 (%)

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化の事です。



コールセンター 本社: 〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号
TEL: 0120-070-440 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 06-6644-4433

修理サービスセンター 住所: 〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号(電響社サービスセンター)
TEL: 075-681-2430 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 075-681-0886